

令和4年度進行管理・評価シート
津島市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月24日認定）
（最終変更 令和4年6月8日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 良好な景観に資する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物保存・活用事業	3~4
2 道路改良・道路美装化事業	5
3 天王川公園整備事業	6
4 歴史文化遺産案内板整備事業	7
5 尾張津島天王祭保存・振興事業	8
6 尾張津島秋まつり保存・振興事業	9
7 歴史・文化学習事業	10
8 茶の湯文化振興事業	11
9 津島の歴史・文化魅力発信事業	12~13
10 毛織物産業の普及促進事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用	15
2 文化財の防犯・防災	16
3 文化財の普及・啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 津島の毛織物産業 歴史や工程を紹介	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客入込客数の動向	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市長公室シティプロモーション課、建設産業部都市計画課、教育委員会社会教育課の3課を事務局とし、各事業担当者と横断的に連携しながら庁内の実施体制を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
関連部署間での情報共有等を行うため、担当者会議を1回開催し、計画の推進についての情報共有や令和4年度事業の実施状況、令和5年度に向けた事業の確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		適正な計画の推進と事業の実施を図るため、引き続き定期的に担当者会議を開催していく。また、計画上の必要な手続について意識したうえで事業を実施し、変更等があれば早い段階から関係者間での情報共有に努める。	
状況を示す写真や資料等			
●津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議 ・開催日 令和5年2月8日 ・開催場所 津島市役所 ・出席者 シティプロモーション課、都市計画課マスタープラン推進室、産業振興課、社会教育課 ※都市整備課は業務都合により急遽欠席 ・議題 ①令和4年度実施事業の進行管理・評価について ②軽微な変更について ③情報共有(令和5年度以降の事業について)			
●計画の実施体制			
<pre> graph TD subgraph National_Government [国] N1[文部科学省] N2[農林水産省] N3[国土交通省] end subgraph Aichi_Prefecture [愛知県] A1[県民文化局] A2[海部建設事務所] end subgraph City_of_Tsushima [津島市] subgraph Bureau [事務局] B1[シティプロモーション課] B2[都市計画課] B3[社会教育課] end subgraph Division [庁内関係課] D1[財政課、市民協働課] D2[都市整備課、産業振興課] end end subgraph Committees [津島市歴史的風致維持向上協議会] C1[津島市歴史的風致維持向上協議会] end subgraph Committees_2 [津島市文化財保護審議会] C2[津島市文化財保護審議会] end subgraph Committees_3 [津島市都市計画審議会] C3[津島市都市計画審議会] end subgraph Citizens [市民・市民団体、文化財・歴史的建造物所有者] Cit[市民・市民団体、文化財・歴史的建造物所有者] end National_Government -- 協議報告 --> Bureau Aichi_Prefecture -- 連絡調整 --> Bureau Citizens -- 助言支援 --> Division Bureau -- 報告意見 --> C1 Bureau -- 報告意見 --> C2 Division -- 報告意見 --> C3 Bureau <--> 連携・支援 Citizens </pre>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況

良好な景観に資する施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

計画に記載している内容 都市計画法や景観法などの制度を活用して、良好な景観の形成を図るため規制誘導の検討を行っていく。現在、本市では景観計画を策定していないが、歴史的風致維持向上計画と相乗効果的に関連付けながら策定を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画策定に向けて、愛知県の関係部署と景観行政団体への移行について協議を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度中に景観行政団体に移行予定で、令和5年度から3年程度かけて、ワークショップ等で市民からの意見等を聞きながら景観計画を策定していく。
--	--

状況を示す写真や資料等

↓景観計画策定後のイメージ(天王通りの無電柱化による良好な景観の形成)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
歴史的建造物保存・活用事業①			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や尾張津島秋まつり等に関するものや季節ものの展示等を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津島市観光交流センターについては、外部螺旋階段塗装修繕を実施した。また、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら5月1日(日)に「山車出展」、6月1日(水)～7月31日(日)に「天王祭展」、7月10日(日)～7月21日(木)に「天王祭お囃子練習」、10月6日(木)～10月23日(日)に「天王祭絵画コンテスト」、9月24日(土)～9月30日(金)に「秋まつりお囃子練習」、9月1日(木)～10月5日(水)に「秋まつり展」等を開催、茶室を活用した抹茶体験を予約制で実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な保存管理や修繕が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
↓山車出展	↓天王祭展		
			
↓天王祭お囃子練習	↓秋まつりお囃子練習		
			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史的建造物保存・活用事業②		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物の維持・管理のほか、歴史的建造物内で尾張津島天王祭や尾張津島秋まつり等に関するものや季節ものの展示等を実施し、歴史的建造物の保存・活用を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧堀田家住宅については、通常の保存管理に加え、令和4年度は漆喰剥落箇所等の修繕を行った。氷室作太夫家住居については、通常の保存管理を行った。一般公開をしている旧堀田家住宅では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとり、4月23日(土)～5月5日(木)に「見て ふれて 知る 津島の毛織」、7月2日(土)～8月28日(日)に「天王祭展—掛軸の中の天王祭—」、10月18日(火)～10月23日(日)に「ちりめん細工展」、2月4日(土)～3月5日(日)に「ひなまつり展」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

継続的な保存管理や修繕が必要である。また、個別文化財の保存活用計画の策定にあたり、市民のニーズ等も調査しながら進めていくことが求められている。

↓旧堀田家住宅の修繕(左:修繕前、右:修繕後)



↓旧堀田家住宅での展示



「天王祭展—掛軸の中の天王祭—」(7月)



「ちりめん細工展」(10月)



「ひなまつり展」(2月)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
道路改良・道路美化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業

計画に記載している内容 津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上させるため、景観と調和した道路や小路の美化、道路の拡幅や歩道の整備等の来訪者に配慮した整備を行う。また、併せて無電柱化の検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

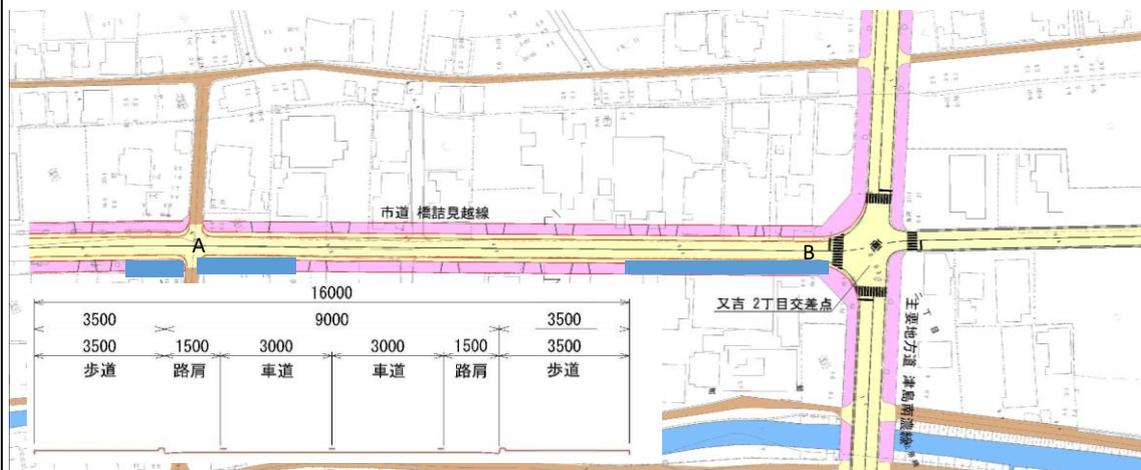
●道路改良
令和4年度は、用地買収を249.72㎡を買収済。令和3年度から用地買収を進めており、用地買収済面積は令和4年度末まで708.96㎡(36.55%)。また、令和3年度に買収を実施した区間の一部の工事を行った。

●道路美化化(小路整備)
令和4年度は、L=96.7mの小路整備事業を実施済。平成27年度から小路整備及び道路美化化を実施しており、総延長L=4308.6mに対し、令和4年度までの整備済延長はL=2664.4m(進捗率62%)。また、アスファルト舗装から輝緑岩を合材とする景観に配慮した排水性舗装に整備した(L=96.7m)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	さらなる津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性を向上につながるために引き続き整備工事を実施し、整備延長を伸ばしていく。

状況を示す写真や資料等

↓道路改良事業箇所(橋詰見越線)の平面図と標準断面図 ■ 事業箇所



↓現在の道路改良事業箇所(橋詰見越線、上記AからBを見た写真)



↓工事後の道路美化箇所(片町2丁目)



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
天王川公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業

計画に記載している内容 天王川公園内にある老朽化した藤棚の改修等を行う。

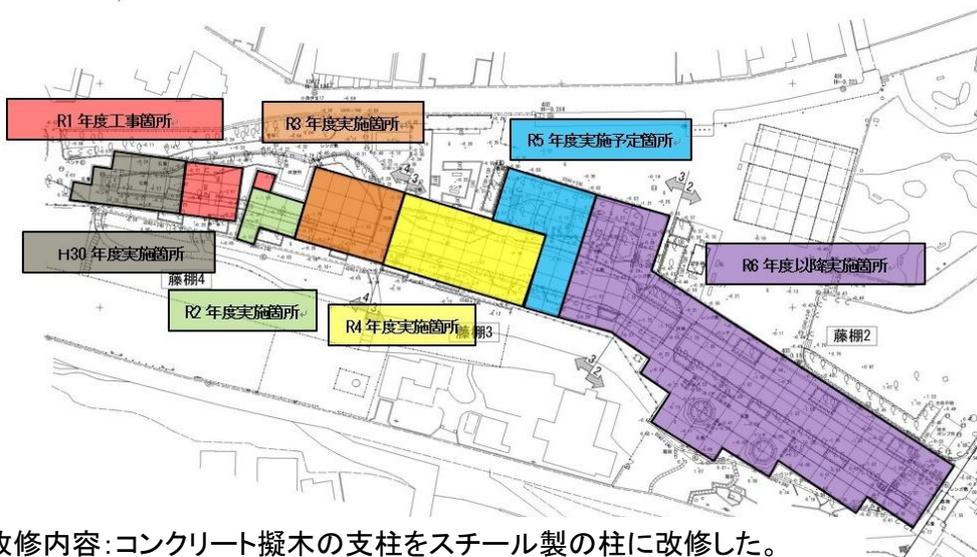
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、A=537.6㎡の藤棚改修を実施済。平成30年度から藤棚改修工事を実施しており、総面積A=3756.0㎡に対し、令和4年度までの改修済面積はA=1,452.9㎡(進捗率38.7%)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	老朽化が進む藤棚の早期改修には、集中的な予算投資が必要なため、公園事業に特化した国の支援事業を検討し、進捗を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等

↓藤棚改修状況



改修内容:コンクリート擬木の支柱をスチール製の柱に改修した。

↓改修前の藤棚



↓改修後の藤棚



評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史文化遺産案内板整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度(2020)～令和6年度(2024)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和2年度(2020)～令和6年度(2024))、市単独事業		
計画に記載している内容	老朽化等した歴史文化遺産の案内板を、必要に応じた方法で整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は老朽化した歴史文化遺産案内板の整備の必要性がなかったため、実施しなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成29～30年度に整備した歴史文化遺産案内板については、災害や現状変更による修繕の必要性を随時注視し、適切に対処していく必要がある。また、未整備の案内板については、令和5年度以降に既存の案内板をイメージした整備を行う予定である。	
			
案内板整備のイメージ			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
尾張津島天王祭保存・振興事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)
支援事業名	国宝・重要文化財等保存・活用事業(民俗文化財伝承・活用等事業【尾張津島天王祭】の車楽舟行事)、市単独事業
計画に記載している内容	尾張津島天王祭の祭礼に使用される用具等を学識経験者等による修理委員会での検討のもと修理・新調するほか、車楽舟行事や祭全体の運営・保存・継承のための補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の状況に留意し感染症対策を行うことで、尾張津島天王祭の行事を一部省略し、7月23日(土)宵祭、7月24日(日)朝祭を縮小開催した。尾張津島天王祭に参加する車楽舟5車に対し、祭運営のための支援補助を実施した。観光客数は53,000人。
 令和4年度の修理については、津島車分は計画どおり実施していないが、市江車分の屋台について、修理事業を実施している(令和4年度については、「国宝・重要文化財等保存・活用事業」を「令和3年度補正予算事業地域文化財総合活用推進事業(地域の伝統行事のための伝承事業)」に切り替えて実施)。また、お囃子練習会については、「令和3年度補正予算事業地域文化財総合活用推進事業(地域の伝統行事のための伝承事業)」を活用し、用具を購入して実施し、伝承活動を行うことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭りについては、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、関係団体等と通常開催に向けての調整を図っていく。また、今後の祭礼用具修繕については、計画的に修理計画を立てる必要がある。特に大型の幕の修理方法等の検討が必要である。令和5年度、6年度中に尾張津島天王祭車楽舟行事伝承保存委員会の中で、委員の意見を聴取しながら進めていく。

状況を示す写真や資料等

↓宵祭

↓朝祭(鉾持ち)



お囃子練習会の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
尾張津島秋まつり保存・振興事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	学識経験者等による修理委員会での検討のもと、尾張津島秋まつりに使用される用具等を修理するほか、祭の運営や後継者育成のための補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染症の状況に留意し感染症対策を行うことで、尾張津島秋まつりの行事を一部省略し、10月1日(土)、10月2日(日)に縮小開催した。尾張津島秋まつりに参加する山車、石採祭車、神楽に対し、報償費を支払った。観光客数は15,000人。保存・継承事業については、用具等の修理を予定通り実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、関係団体等と通常開催に向けての調整を図っていく。また、保存・継承事業については、保存団体の予算の確保や担い手の確保に課題がある。団体へ新たな資金調達方法の検討を促し、地域のくくりを超えた担い手の参画を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
↓山車	↓石採祭車		
			
↓修理前の小中切水引幕の写真			
↓修理後の小中切水引幕の写真			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

歴史・文化学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)
支援事業名	市単独事業、民間団体単独事業

計画に記載している内容	市では主に市内の小学校高学年の児童を対象に郷土の歴史や文化を学習するためのフィールドワークや祭の見学等を実施し、民間団体では大人から子どもまで参加できるご当地検定を開催することで、市内外の住民に津島の歴史文化の学びの機会を提供する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張津島天王祭の車楽舟行事の学習事業として、7月9日(土)に尾張津島天王祭クイズ、市江車行事についての講座、屏風クイズ、鉾持体験、7月16日(土)に車楽舟パズル、祭りをめぐる(屋形などの見学)、7月24日(日)に朝祭の見学等を実施した(全体応募者36人)。また、津島商工会議所が主催の津島ご当地検定(「信長の台所歴史検定 津島の達人」)は、会場では行わずWEBのみで開催した(期間:2月13日(月)から3月12日(日)まで 受験者:45名)。WEBで開催したことでリピーターや遠方の方にも受験していただけた他、小学生等の若年層の参加もあり、年齢問わず認知度が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 「祭りを学ぶ」は、引き続き熱中症対策などに配慮しながら、継続的な運営方法を検討していく必要がある。尾張津島天王祭についてさまざまな視点で学習テーマを設定することによって、わかりやすく伝える工夫をしていく必要がある。また、「津島の達人」は新型コロナウイルス感染症の影響でWEB開催となっているが、今後はWEBと会場のハイブリッド方式の開催を検討することで、WEBツールのない方への受験を促す。今回は図書館等の公共施設に検定の周知を依頼し、地元の方の参加を促したが、更なる周知方法を検討し、参加人数増加につなげる。
--	---

↓「祭りを学ぶ」



鉾持ち体験の様子



車楽舟パズルの様子



朝祭の見学の様子

←ご当地検定のチラシ

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
茶の湯文化振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 毎年秋に津島市文化会館で行われる「津島市文化祭」の協賛行事等において、市民が茶道等を披露する場を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症発生前は、例年津島市文化祭の協賛行事として「茶華道展」を実施していたが、令和4年度もコロナ禍のため中止となった。津島市観光交流センターの抹茶体験については、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止としていたが、令和4年度は感染対策を講じた上で予約制で再開した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

「茶華道展」は大人数での飲食が伴い、茶道の作法により茶器の消毒等対応も難しいため、コロナ禍での開催が困難であったが、今後新型コロナウイルス感染症の位置付けが変わるため、再開に向けて検討していきたい。また、並行して津島市観光交流センターの抹茶体験のような少人数で楽しめる事業を継続的に実施し、当市の茶の湯文化を伝えていきたい。



令和元年度の「茶華道展」の様子

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
津島の歴史・文化魅力発信事業①			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度(2020)～令和11年度(2029)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ等による津島のまち歩きやパンフレットの作成、市ホームページにより市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津島市のPRや観光客の増加を図るために、観光パンフレットの代わりとなる名刺サイズの観光カードと専用ラックを作成し、名鉄津島駅や木曾三川公園等に設置した。 東海三県の全市町村の中で、津島市の寺密度がナンバーワンであることを活かし、津島の4つの祭りをテーマとした御朱印集めのイベント「津島てら・まち御縁結び」を4回開催した(参加延べ人数:3,219名)。また、津島市と愛知大学との官民連携事業「津島てら・まち御縁結び散策MAP制作プロジェクト！」において、学生がオリジナルの津島市散策用の映えマップを作成し、2月4日(土)開催の「第16回津島てら・まち御縁結び」において、学生が配布を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新たなPR方法について模索しながら、引き続き、大学と連携し市の魅力発信を行っていく。		

状況を示す写真や資料等

↓観光カードと専用ラック



↓御朱印集めのイベントチラシ



↓「津島てら・まち御縁結び散策MAP制作プロジェクト！」津島市散策用の映えマップ



評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
津島の歴史・文化魅力発信事業②	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 ガイドボランティアや津島おもてなしコンシェルジュ等による津島のまち歩きやパンフレットの作成、市ホームページにより市固有の祭や文化財、町並みの魅力を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津島ガイドボランティアが4月17日(日)、5月14日(土)、6月19日(日)に津島の歴史文化を学び、実際に市内を歩き行う「ガイドボランティアと学ぼう津島」を実施し、3日間で約40名の参加があり盛況だった。また、津島おもてなしコンシェルジュが10月16日(日)に愛知県と津島市が主催する「ブラアイチin津島」のまちあるきコースマップの企画・運営に協力し、約350人の参加があり盛況だった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 多くの参加者が、津島の文化や歴史に触れながら、まちあるきを楽しんだ。引き続き、関係団体と連携し市の魅力発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等

↓「ガイドボランティアと学ぼう津島！」のチラシと当日の様子

ガイドボランティアと学ぼう津島

募集定員各日(先着) 15名
 受講料無料(教材費 500円)
 津島の歴史・文化を楽しく学んでみませんか？
 興味のある方は参加しませんか？
 講座開催日時 講師…津島ガイドボランティア

1回目・神社寺院	A… 4月17日(日) 10時～15時
2回目・祭り	B… 5月14日(土) 10時～15時
3回目・俳句	C… 6月19日(日) 10時～15時

講座内容…① 午前には津島の歴史・文化を楽しみましょう！
 ② 午後からガイドと一緒に津島のまち歩きを体験しましょう！

開催場所 津島観光交流センター 〒496-0803 津島市本町 1丁目 52-1
 参加は各自でお集まりです。 休講時間は12～13時です。
 主催…津島ガイドボランティア 後援…津島市
 協力…津島市観光協会・津島観光交流センター

皆さん、ドンドン応募してくださいませ

申込書	津島市観光交流センターまで TEL:0567-29-2761 FAX:0567-29-2762
名前	参加 氏名 姓 名 姓 名 姓 名
性別	○を A B C
年齢	年齢
電話番号	電話番号
住所	住所

問い合わせ先…津島ガイドボランティア 中央会(TEL:080-2817-7888)
 新型コロナウイルスの感染状況により、開催日・開催内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。



↓「ブラアイチin津島」のチラシと当日の様子

津島市創設75周年記念事業特別開催
ブラアイチ in 津島
 2022.10.16(日) 9:30-15:30(小電決行)

信長が愛した津島湊 天正川

受付時間 / 9:30～10:00 10:00～10:30 10:30～11:30
 受付場所 / 天正川公園大テラス前
 コース / 約4.2km

参加費無料

津島市



評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
毛織物産業の普及促進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029)
 支援事業名 津島毛織工業組合単独事業

計画に記載している内容 愛知県や日本毛織物等工業組合などと連携しながら、市内の毛織物産業企業に対し、販路の開拓・拡大の支援や後継者育成のための研修、そのほか必要に応じた企業支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市と津島毛織工業組合が連携し、毛織物産業をPRする展示を行うほか、毛織物産業について学ぶプログラムを作成し、放課後子ども教室において実施した。また、愛知県一宮市、岐阜県羽島市の民間主体のイベント「ひつじサミット尾州」と連携し、市内の各所で10月29日(土)、30日(日)に社会実験を開催し、2日間で延べ約13,000人の参加があった。旧いちい信用金庫建物では津島毛織の紹介や市内の工場の写真展示、羊のワークショップを行い、天王川公園では羊とのふれあいの場を提供し、津島の毛織物をPRした。当サミットで津島でも毛織が織られていることを初めて知った一般客もあり、知名度向上に貢献できた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今年度試行実施した放課後子ども教室における毛織物学習プログラムを、次年度は他の教室でも実施するため、毛織工業組合と調整を行う必要がある。また、「ひつじサミット尾州」のようなイベントだけでなく、常設で紹介できる場がないと認知度向上にはなかなか寄与しにくいいため、今後は様々な手法で関係各所と連携しながら検討していく。

↓旧堀田家住宅「見て ふれて 知る 津島の毛織」

↓放課後子ども教室学習事業「つしまのみりよく 大発見！」



↓「ひつじサミット尾州」の様子(旧いちい信用金庫建物、天王川公園)



津島毛織の紹介



羊とのふれあい



工場の写真展示



羊のワークショップ

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	指定等文化財の適正な保存・管理を図るとともに、市に所在する未指定文化財についても、調査等を通して文化財の価値を判断し、必要に応じて指定等といった保護措置を講じ、保存活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財については、所有者や管理者等による適切な管理ができるよう指導・助言・情報提供を実施した。それにより、修理や保管が適切に行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の日常管理は所有者に委ねられる部分が多く、所有者が次代へと継承された場合、文化財の価値や適切な管理を行うための知識までも継承されるとは限らないため、所有者の情報を把握し、適切に指導・助言・情報提供を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ●指導 修理方法(12件) ●助言 保管方法(1件) ●情報提供 補助金情報(2件) 事業参加案内(3件) 			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財の防犯・防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の所有者や管理者等に対する防災・防犯面での知識の向上や啓発活動、日ごろの確認や文化財防火デーにおける消防訓練等の実施に取り組む。また、自動火災報知機や消防設備の適切な維持管理の指導・助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧堀田家住宅については8月22日(月)と2月16日(木)、氷室作太夫家住居については8月23日(火)と2月16日(木)に消防訓練を実施した。文化財防火デーについては、津島神社にて消防本部と連携した消防訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な消防訓練や消防設備の点検及び修理が必要である。

状況を示す写真や資料等

↓旧堀田家住宅における消防訓練



↓津島神社における文化財防火デーに合わせた消防訓練



↓氷室作太夫家住居における消防訓練

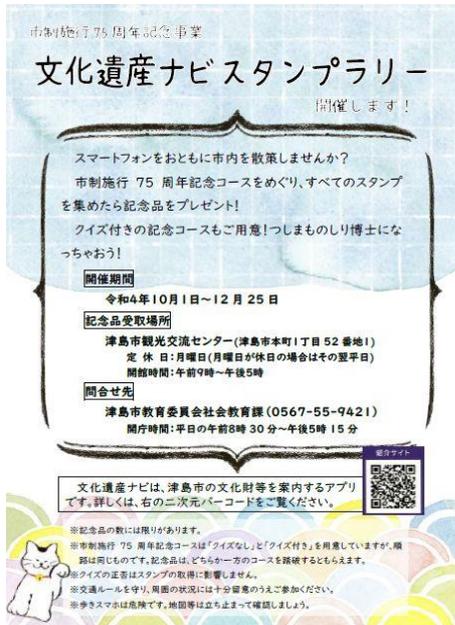


評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市内外に所在する文化財について、市内外の方に広く知ってもらうため、市内文化財の情報発信ができるWebサイト(「デジタル博物館」等)の運営や、市立図書館等にて行われる歴史講座などの文化財に関する各種講座、旧堀田家住宅における展示や公開を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧堀田家住宅においては「見て ふれて 知る 津島の毛織」、「天王祭展—掛軸の中の天王祭—」、「ちりめん細工展」、「ひなまつり展」などの展示を行い、旧堀田家住宅に足を運んでもらう機会を設けた。また、ホームページ「津島市の歴史・文化遺産」の運営を行ったほか、アプリ「津島市文化遺産ナビ」を活用した「文化遺産ナビスタンプラリー」を10月1日(土)～12月25日(日)に開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		市が管理するホームページ以外に、まつりやまち歩き等のイベントを通じて文化財の普及・啓発を行うことも有効であるため、関係部署間で連携しながら、文化財のPR方法について検討していく。	
状況を示す写真や資料等			

↓市制施行75周年記念事業として実施した「文化遺産ナビスタンプラリー」



↓旧堀田家住宅で開催した「ちりめん細工展」



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
津島の毛織物産業 歴史や工程を紹介		令和4年4月24日	中日新聞
津島の「正面玄関」魅力向上		令和4年6月30日	中日新聞
3年ぶり尾張津島天王祭 光さす夜 華やぐ朝		令和4年7月26日	中日新聞
津島の歴史や文化発掘 愛大生が散策マップ		令和5年1月27日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新聞記者への積極的な情報提供により、市の事業だけでなく民間団体や大学と連携した活動も報道してもらうことができた。新聞報道されることで、多くの人に周知・PRすることができたとともに、市の歴史や文化への関心の向上に寄与することができたと考える。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

例年行っているイベントでも新たな工夫やテーマを設定したり、これまでにない取組を行う等、新しい情報を提供していくことが重要であることがわかった。

状況を示す写真や資料等

↓令和4年4月24日 中日新聞



↓令和4年6月30日 中日新聞



↓令和5年1月27日 中日新聞



↓令和4年7月26日 中日新聞



評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和4年度										
項目													
観光客入込客数の動向													
計画に記載している内容													
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付													
新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで天王祭や秋まつりは規模を縮小して開催できたこと、また津島神社の初詣などの参拝者数が回復したことで、前年より観光客入込客数は増加した。													
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)											
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		ウイズコロナの生活が定着しつつあり、コロナ禍でも感染対策を講じたうえで祭り等が開催されている。マイクロツーリズムなどのコロナ禍を意識した観光スタイルや新たな取組を通じ、近隣県市からの誘客を目指す。											
状況を示す写真や資料等													
津島市への観光客入込客数(延べ人数)													
<table border="1"> <caption>観光客入込客数(延べ人数)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>観光客入込客数(単位:千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31(R1)</td> <td>1,456</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,119</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>973</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,185</td> </tr> </tbody> </table>				年	観光客入込客数(単位:千人)	H31(R1)	1,456	R2	1,119	R3	973	R4	1,185
年	観光客入込客数(単位:千人)												
H31(R1)	1,456												
R2	1,119												
R3	973												
R4	1,185												
※藤まつり、天王祭、秋まつり、津島神社、尾張津島観光センター、津島市観光交流センターの入込客数の合計に、百の位を四捨五入した数字													

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 津島市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和5年4月27日 14時～	
<p>(コメントの概要)</p> <p>●良好な景観に資する施策との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観計画は早く作っていただいた方がよい。進捗評価シートに記載のとおり、着実に進めてほしい。 ・歴まち計画と景観計画は、表裏一体で、両輪で進めていくことが望ましい。津島市は、歴まち計画の策定が先行している。歴まち計画の重点区域内には、数多くの歴史的建造物や歴史的な町並みが残っている。区域内の地域住民と話し合いをして、成果を出してほしい。 ・天王川公園は、ヨネ・ノグチ、片岡春吉、杉浦兼松の像、カジノキやマツ並木があるなど、文化財価値が高いと思っている。景観計画に盛り込むと、天王川公園の魅力がさらにアップするのではないかと考える。 ・まちづくりを進めていく上で、景観計画の策定は非常に重要となってくる。今後の津島市のまちづくりのあり方に大きな影響を与えると思うので、そのあたりを意識して、津島市オリジナルの景観計画を策定してほしい。 <p>●歴史的建造物保存・活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷室作太夫家住居は、津島の御師を語っていく上で大変重要な建物である。近い将来きちんと保存修理できるよう、歴まち事業の中で進めてほしい。また、保存だけでなく、活用という視点も取り入れてほしい。 ・旧堀田家住宅は原則土・日・祝日の公開であるが、できれば常時公開し、もう少しPRできると、建物の活用につながるのではないかと考える。 <p>●尾張津島天王祭保存・振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張津島天王祭については、台風で2年、新型コロナウイルス感染症により3年、中止や縮小開催が続き、今年6年ぶりに開催するが、足元の文化継承力が落ちていると実感している。船頭も高齢化しており、その人数も少なくなってきた。天王祭を支えている部分が脆弱化しているのを非常に感じる。 ・天王祭の中止や縮小開催が続いたことで、お囃子の承継が非常に困難になっている。太鼓と違い、笛吹きは練習してすぐにできるようになるものではなく、最低でも1年はかかる。今年は、天王祭を完全実施の予定で進んでいるが、お囃子ができるか否か非常に危惧している。文化継承は大きな課題であり、尾張津島天王祭協賛会と協力してお囃子を継承していきたい。 ・お囃子の継承については、練習場所の確保も大きな課題である。笛の練習は、参加者が中学生や高校生であり、夜しか練習できない。音が出るため、密集地では練習が難しい。 <p>●津島の歴史・文化魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県と津島市が共同開催した「ブラアイチin津島」には、非常に多くの方が参加し、参加者に喜んでいただけた。今後もこのようなイベントが定期的開催できる仕組みを考えていきたい。 <p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市は令和5年度から景観計画の策定を進めていくが、計画の策定にあたり、まずは緩やかに景観計画の意識の醸成や啓発から入っていき、行く先にはまちなみの要素となる歴史的風致形成建造物の指定を入れながら、「まちなみを活用するため、まちなみを守ること」に意識が発展できるよう、策定を進めていく。 ・景観計画は、景観法に基づく規制で、まちづくりの観点から見ると生産性に結びつくものではないが、津島市歴史的風致維持向上計画に記載の事業と景観計画による規制をミックスさせながら、できる限り生産性のあるまちづくりを進めていく。 ・歴史的建造物の保存・活用については、コメントを参考に具体的な取組が実施できるよう検討する。 ・少子高齢化や新型コロナウイルス感染症等の影響で、文化の継承や担い手の育成、練習場所の確保については大きな課題である。学識経験者や関係団体と引き続き協議しながら、今後の方針を検討していく。 	